



シルバーカー モート

[取扱説明書] (保管用)

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
⚠️この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。(手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません。) 使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し購入されることをお勧めします。なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、充分ご理解された上、ご使用ください。

目次

| | | | |
|--------------|-----|------------|---|
| 警告事項 | 1 | ブレーキの調整方法 | 5 |
| 注意事項 | 1~2 | キャスターの操作方法 | 5 |
| 各部の名称 | 3 | 座面の使用方法 | 5 |
| 車体のひろげ方 | 4 | 腰掛け方 | 6 |
| 車体の折りたたみ方 | 4 | 傘止めバンドの使い方 | 6 |
| ハンドルの高さ調節 | 4 | 故障かなと思ったら | 6 |
| ハンドブレーキの操作方法 | 4 | 保証書 | 7 |
| 駐車用ストッパの操作方法 | 5 | SGマーク | 7 |

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点やご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

株式会社 島製作所

サービス係

☎06-6793-0991

**ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、
ご自身の体調の状態で使用できるかご判断ください。**

加齢等によって歩行機能が低下してこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。
室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。
また定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

⚠ 警告事項 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車、バス、電車内、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨、雪、凍結等滑りやすいところでは使用しないでください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、及び夜間に使用される際は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 段差を乗り越えるときに、車輪を持ち上げた状態で使用しないでください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと横断されることをお勧めします。
- 車体の組立て及び調整は確実に行ってください。
- ご使用前に、必ず固定用ロックが確実にかかっているかを確認してください。固定用ロックがかかっていないと車体が折りたたまれ大変危険です。
- 片手で押して使用しないでください。
- ハンドルの高さ調節部（左右）が固定されているか確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体だけが前に動き、転倒する恐れがあります。
- 踏み台としては使用しないでください。
- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパを左右両輪にかけ、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外のところには座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がる時は、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作をさせないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届くところに放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

⚠ 注意事項 思わぬケガをする恐れがあります。

※ご使用前に

- 製品各部を点検し、特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の性能、車輪及びブレーキタイヤ押さえの摩耗、押したときのグラつきについては十分確認して使用してください。

※ご使用中には

- 用途以外には使用しないでください。
- 火気の近くでは使用しないでください。
- 砂、泥のあるところ、特に水たまりでは使用しないでください。
- 最大使用者体重は 80kg です。ご使用される方の体重が 80kg 以下の方に限ります。必ずお守りください。
- バッグの載荷重は 5kg です。5kg を超える荷物は載せないでください。
- バッグ以外のところに荷物を載せないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 座面に人を乗せたままで押さないでください。
- 座面を下ろした状態で押さないでください。
- 乳幼児、子供、動物をバッグ内に乗せないでください。
- 車体の組立て、折りたたみなどの操作時には乳幼児や子供を近づけないでください。
- ハンドルとブレーキレバーの間に指を入れたまま操作をしないでください。
- ハンドブレーキは自動車のブレーキとは構造が違いますので過信しないでください。
- 車体を折りたたんだ状態で車体を押したり座ったりしないでください。
- 駐車用ストッパがかかった状態で車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、手をはさまないように注意してください。
- 車体からは離れるときは、必ず駐車用ストッパをかけてください。

※保管方法とお手入れについて

- 使用後は乾いた布で水分を取り、日陰で乾かしてください。
- バッグの汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- 火の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因となります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で車体・バッグを拭かないでください。
- フレームや車輪は砂や泥などの汚れを付けたまま放置せず、必ず落としてください。
- 長期間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、屋内で保管してください。
- 駐車用ストッパをかけた状態で保管された場合は後輪が凹んでしまう恐れがあります。駐車用ストッパをかけない状態で車体を折りたたんでも自立できる水平な場所での保管をお勧めします。
- 寒暖の差が激しいところでの保管は、バッグの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となる場合があります。
- 車輪や車体がきしむときは、連結部等に潤滑油を数滴注油してください。注油後、回転及び車体の組立て・折りたたみ操作を 2～3 回くりかえしてください。
- 非常口や消火器の前に放置しないでください。
- 定期的に各部（車輪及びブレーキなど）の破損、緩み、摩耗などがいないかを保守・点検し、必要に応じて調整または交換をしてください。
- 定期的に各部のカシメ鉋、ネジなどが緩んでいないかを確認してください。
- 取扱説明書は本体とともに保管してください。

※廃棄について

- 各自治体の指示に従って処分・廃棄してください。

各部の名称

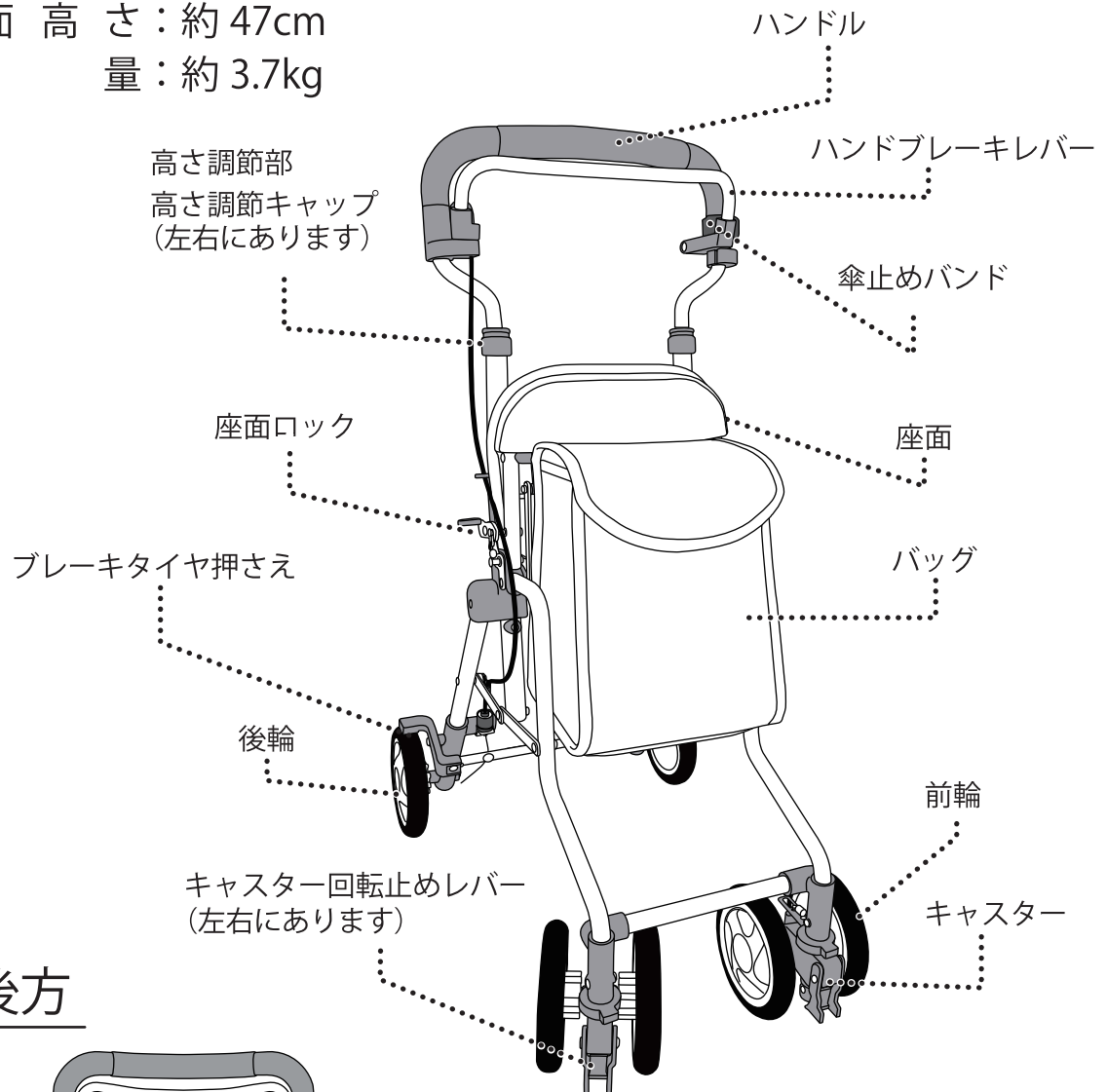
シルバーカー モート

使用時サイズ：約 H84 ~ 93×W40.5×D58.5cm

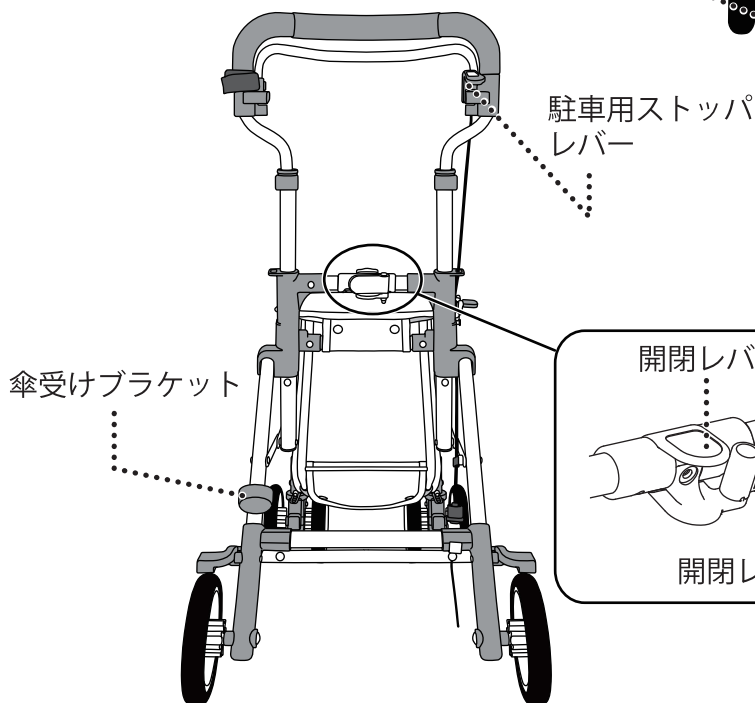
収納時サイズ：約 H79×W40.5×D34cm

座面高さ：約 47cm

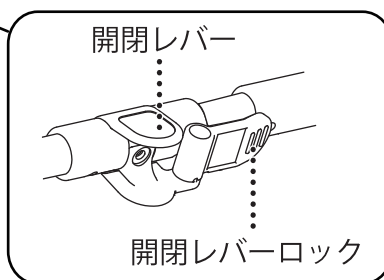
重 量：約 3.7kg



● 後方



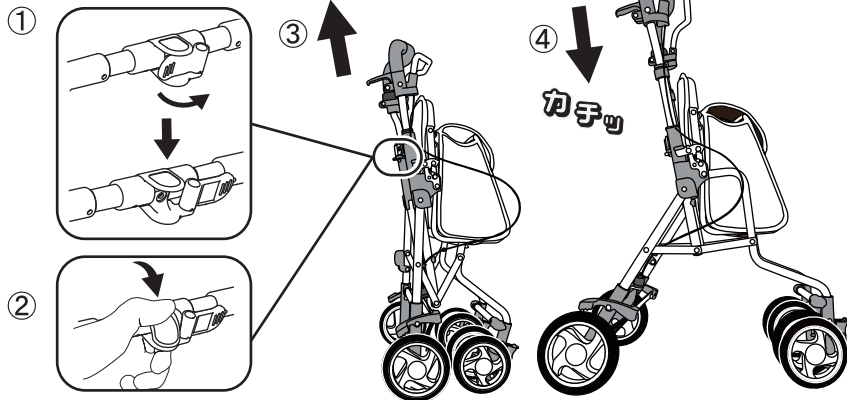
● 座面を下ろした状態



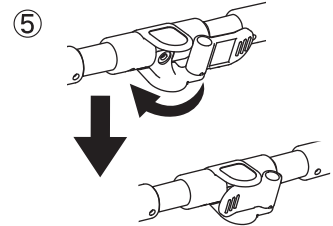
車体のひろげ方

1 開閉レバーロックを開き、開閉レバーのロックを解除してください。(図①参照) 開閉レバーをつまみながら、(図②参照) 図③の矢印の方向にハンドルが上がりなくなるまで引き上げてください。

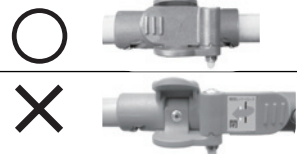
※車体をひろげる、折りたたまれる際は必ず開閉レバーをつまみながらハンドルの上げ下げを行ってください。ロックシステムが車体を傷付ける恐れがあります。



3 開閉レバーロックを閉じ、開閉レバーをロックしてください。(図⑤参照) 開閉レバーにしっかりとロックがかかっていることを(つまめない状態になっているか)確認してください。

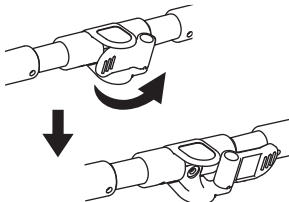


注 シールが見える状態では使用しないでください。

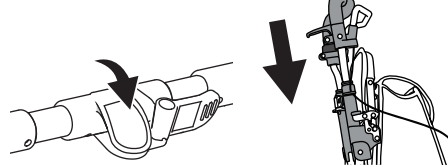


車体の折りたたみ方

1 開閉レバーロックを開き開閉レバーのロックを解除してください。

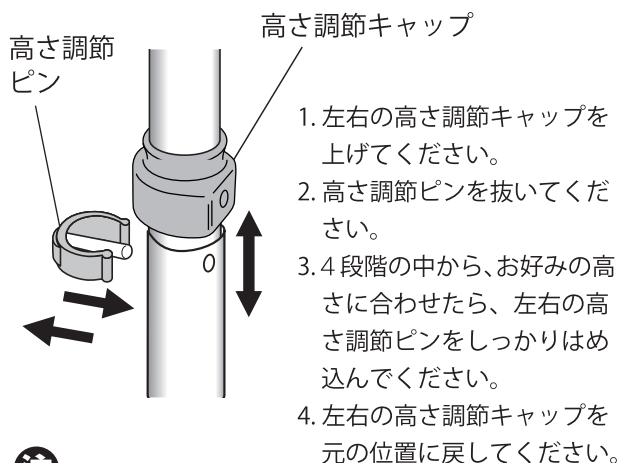


2 開閉レバーをつまみながら矢印の方向にハンドルを下げきってください。



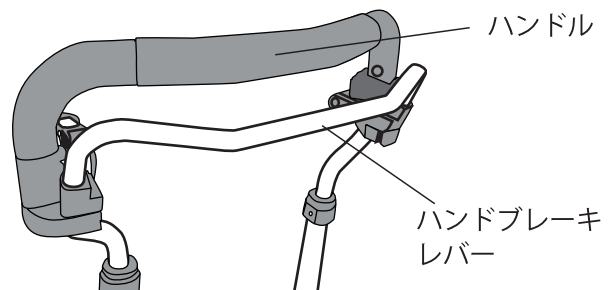
3 車体が折りたたんだ状態でしっかりと固定されていることを確認してください。開閉レバーロックを閉じ、開閉レバーをロックしてください。

ハンドルの高さ調節



- 注**
- 左右同じ高さであることを確認して固定してください。
 - 高さ調節を行う時、高さ調節ピンを落とさないように注意してください。
 - ガタつきがないか確認してください。

ハンドブレーキの操作方法



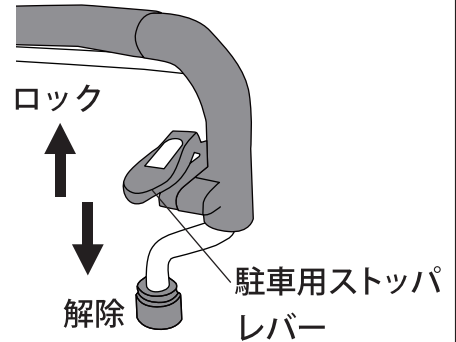
ハンドブレーキレバーを握れば、後輪(左右)にブレーキがかかります。

- 注**
- ハンドルとハンドブレーキレバーの間に指を入れたまま操作しないでください。
 - ブレーキは構造上、自動車のブレーキのようには効かないので過信しないでください。
 - ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキが効きにくくなりますのでブレーキワイヤーの交換をしてください。

駐車用ストッパの操作方法

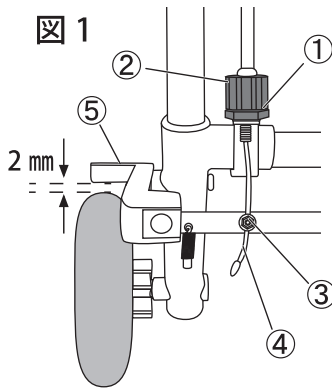
1. 駐車用ストッパレバーを上にあげると、後輪がロックされます。
2. 駐車用ストッパレバーを下におろすと、ロックが解除されます。

- 注**
- 駐車用ストッパのかかった状態（後輪がロックされた状態）で車体を押さないでください。
 - 座る場合や車体から離れる場合は、必ず駐車用ストッパをかけてください。
 - 構造上、自動車のブレーキのような停止効果はありませんので、坂道など斜面では腰掛けないでください。

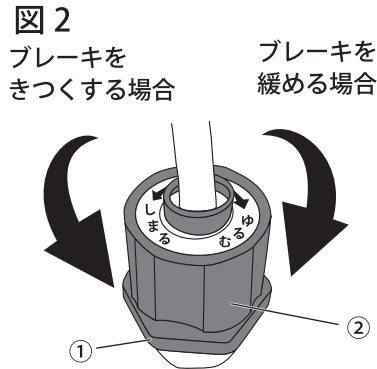


ブレーキの調整方法

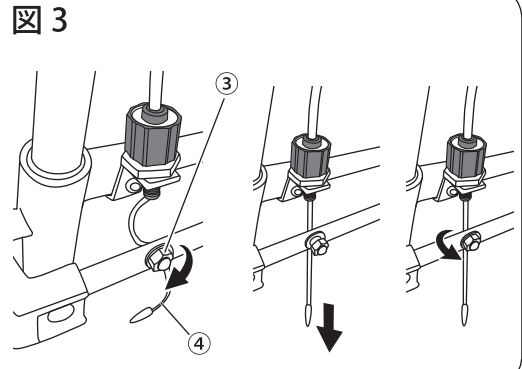
- ⑤と車輪のすき間が約2mm位になるように調整してください。



- ブレーキをきつくしたいときは①を緩め、②を「しまる」方向に回して調整し、①を締めてください。
- ブレーキを緩めたいときは、①を緩め、②を「ゆるむ」方向に回して調整し、①を締めてください。



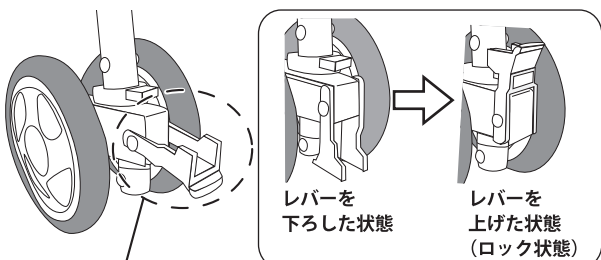
- 左の方法で調整が効かない場合は②を始めの状態（ブレーキを調整する前）に戻し、③を緩め、⑤を図1の状態にした後、④を下方向に引っ張り、③を締めてください。



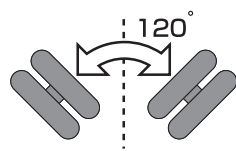
キャストの操作方法

キャスター回転止めレバーを下すと、曲がる方向に力を入れれば左右各60°の角度で車輪が方向転換します。

直進状態でキャスター回転止めレバーを上げるとロックがかかります。（方向転換ができなくなります）



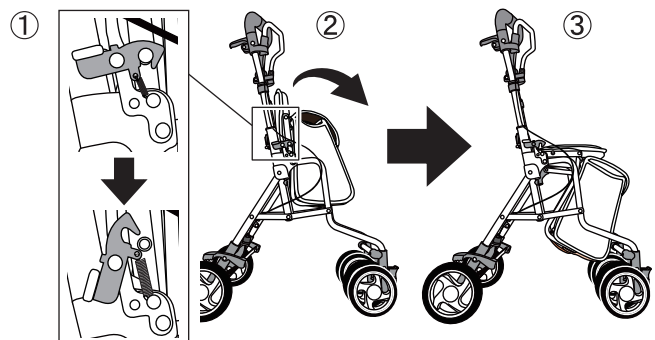
キャスター回転止めレバー



- 注**
- キャスター回転止めレバーが左右同じ状態かを確認してください。

座面の使用方法

- 座面を下げるときは片方の手で座面を持ち、もう片方の手で座面ロックを図①のように上にあげ、座面のロックを解除してください。
- 座面ロックを上げたまま、座面を図②の矢印の方向に押し下げてください。（図③のようになります）（座面を持ちながら押し下げないと座面が勢いよく落ちる恐れがあります）
- 座面を上げるときは、座面を持ち上げると自動で座面ロックがかかります。座面ロックがかかっているか十分確認してください。



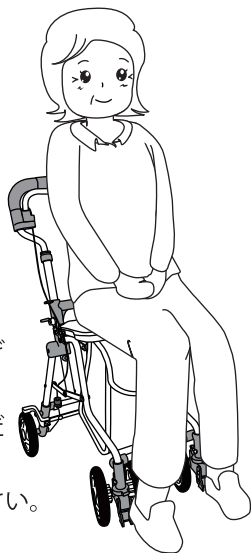
- 注**
- 指をはさまないように注意して操作してください。

腰掛け方

腰掛けるときは、駐管用ストッパをかけ、(P.5 駐管用ストッパの操作方法参照)座面を下ろして、体重が均等に加わるように座面中央にお座りください。

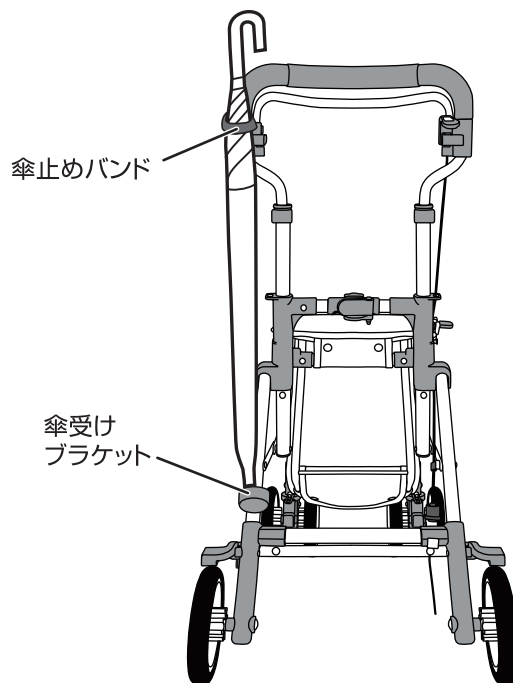
注

- 車体が完全に開いた状態で固定されているか確認してお座りください。(P.4 車体のひろげ方参照)
- 駐管用ストッパをかけてからお座りください。(P.5 駐管用ストッパの操作方法参照)
- 浅く座ったり、後方に力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスがくずれの恐れがあります。ご注意ください。
- 坂道など斜面では座らないでください。
- 最大使用者体重は 80kg です。体重が 80kg を超えられる方はご使用になれません。



傘止めバンドの使い方

傘止めバンドを外して傘先を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘に巻き、固定してください。



故障かなと思ったら・・・

| 状 況 | 原 因 | 対処方法 |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| ハンドルを押したときにハンドルが下がり車体が折りたたまれてしまう | ①固定用ロックが確実にかかっていない ②ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない | ①P.4 車体のひろげ方を参照して、固定用のロックをかけてください ②高さ調節ピンが、穴にきちんとセットされているか、確認してください |
| ハンドルがグラグラと動く | ①ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない | ①高さ調節ピンが、穴にきちんとセットされているか、確認してください |
| 駐管用ストッパまたはハンドブレーキが効かない | ①バネの劣化 ②車輪の摩耗 ③車輪の破損 ④連結部のサビ ⑤ブレーキワイヤーの折れ曲がり | ①バネの交換 ①車輪の交換 (弊社サービス係へ) ③車輪の交換 (弊社サービス係へ) ④潤滑油を注油する ⑤ブレーキワイヤーの交換 (弊社サービス係へ) |
| 固定用ロックがかからない | ①固定用ロックの変形 ②車体の歪み | 弊社サービス係にて製品の修理またはパーツの交換を行います |
| キャスターが回転しない | ①キャスターの回転軸に、土や砂が混入 ②バネの劣化 | ①キャスター (前輪) を手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油を差してください ②バネの交換 (弊社サービス係へ) |
| その他、車輪の交換や車体の破損など | | ①弊社サービス係にて製品の点検、修理またはパーツの交換を行います |

万一、破損・異常が発生した場合、または発見した場合は、そのまま使用せずに、弊社の点検・修理を受けてください。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

MADE IN TAIWAN 28.08



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書